128

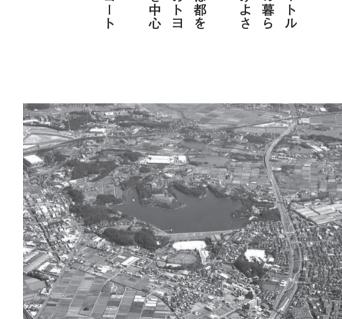
武道必修化における安全な武道指導を 行うため のみよ

みよし市教育委員会

ランキング」では2010年に総合評価1位となった。 である。豊かな自然と快適な環境が広がっており、名古屋市や豊田市にも近く、 しに適したまちである。 みよし市は愛知県のほぼ中央に位置し、 東洋経済新報社が公表している全国の市を対象にした「住みよさ 人口約6万人、面積は32・19平方キロメー 人の暮ら

とする果樹栽培に力を入れている。 はじめ全国各地に運ばれるなど、日本最大の生産地として繁栄した。現在は、4つのトヨ タ自動車の工場を中心とした自動車工業が盛んで、 5世紀の古墳時代から15世紀の室町時代までは陶器の生産が盛んであった。 農業では、 かき、 なし、 ぶどうを中心 製品は都を

カヌー



みよし市の生活・産業を支える三好池

日本有数の競技場として毎年多くの大会が開催されている。 レーシング競技場やカヌーポロの常設コ

化には比較的スムーズに移行でき 化以前から毎年、 の不足といった支障もなく、 以前から種目選択制で武道を実施 していたため、設備の不備や用具 市内の中学校では、どの学校も 愛知県では平成24年度の必修 武道指導者講習

では、 指導者講習会を実施している。 修化を受け、みよし市教育委員会 校学習指導要領改訂に伴う武道必 この講習会を経験している。中学 学校体育担当教諭のほとんどが、 会を実施しており、 平成24年度から武道指導の みよし市の中

11

安全面への配慮を含め、

なく生徒の中からも多くあがって

域になくてはならない行事となっ

中学校体育担当教諭は16名で、

である。 を不安視する声が、 名で、剣道は一級2名、 有段者は柔道は初段3名、 武道の授業においては、 保護者だけで 二段1名 二 段 1 安全面

> を図る必要があった。 修や人的支援等、 指導体制の 充実

実施している。 や魅力を十分に感じられる授業づ 時間数の中で、生徒が武道の特性 の配慮や指導法を最重要課題とし ては、事故防止に向けた安全面 くりの在り方をテーマに、 ながらも、 これらのことをふまえ、 なおかつ限られた指導

みよし市の武道への取組の現状

校の計12校、約6200人の児童 生徒が在籍している。 本市には中学校4校、 小学校8

状況は、 ついては、 が剣道を履修している。 現在、 中学校体育の武道の学習 4校中3校が柔道、 柔道部 (3校)、 弓道部 (2 校) 部活動に 剣道 が活 1 校

綱が生まれるなど歴史も深く、 受けている。中には親子2代の横 学年男女の優勝者が横綱の称号を 行っている。毎年2回行われ、 動している の昭和5年から「すもう大会」を して、1校の小学校で開校2年目 また、 小学校の特色ある取組と 各 地

市教育委員会の取組

ている。 修事業と外部指導者の活用を進め 指導の充実に向け、 みよし市教育委員会では、 次のように研 武道

武道の魅力を感じさせる武道指 導者講習会 安全面の配慮をしつつ、 生徒に

平成24年度から毎年、

夏季休業 している。 育科免許所持教諭の希望者が参加 担当教諭全員と、 会には、毎年、 目ずつ取り上げている。この講習 の実施状況に合わせて、 期間中に武道指導者講習会を実施 回、剣道を1回の割合で毎年1種 している。市内の4中学校の武道 市内の中学校体育 柔道を3

月刊「武道 | 2017. 3

129



10 寝技限定の試合の進め方説明



12 立ち技の段階的な技術指導



14 加藤八段による体落としの技術指導

技能面のポイント ができた。 については、参加者自ら 「受」の役割を交互に行うことで、 特に固め技や投げ技の実技講習 経験の浅い教師にとっ の指導のポイント 取と

131

慮や技能習得における指導のポイ

安全面の配

固め



9 袈裟固めの技術説明



11 加藤八段による技能ポイントの指導



13 受講者同士による動きの確認

安全な指導の在り方」について講段を講師として招聘し、「柔道の施した。みよし市在住の加藤博八施のた。みよし市在住の加藤博八 、柔道着の着方や礼法版、文部科学省)の内、2集「柔道指導の手では、『学校体育実技

○指導者講習会 (柔道)



2 準備運動



4 前回り受身につながる段階的な補強運動②



6 補強運動



8 抑え込みの技術説明



1 加藤八段による礼法の説明



3 前回り受身につながる段階的な補強運動①



5 加藤八段による動きの解説



7 上四方固めの技術説明

月刊「武道」 2017. 3

○外部指導者の積極的活用 (柔道)

【基本技能指導②】 柔道の動きに合わせた準備運動



【基本技能指導④】 文部科学省の「柔道指導の手引」(三訂版)を活用した学習カード



【寝技を教える外部指導者】 ※回しながらの個別指導



【寝技の攻防を楽しむ生徒】 膝をついた状態からの寝技の攻防



133

【基本技能指導①】



【基本技能指導③】 基本的な動き(受け身)の学習



【礼法を説明する外部指導者】 礼儀作法の大切さを説明



【外部指導者と相談した寝技のアドバイス】 寝技の一言アドバイスを常掲

【袈裟固め】

【横四方固め】

- ・相手にお尻寄せろ
- ・体くっつけて
- ・右腕を取れ
- ・足開いて
- ・足はハードル
- ・足の指を立てて
- ・脇ではさめ
- ・しぼれ

○指導者講習会(剣道)



防具の着脱の方法について

形成であること、 寿人四段を講師として招聘 祖父江嘉人教士七段と祖父江 「安全に注意した指導の 「礼法や所作、 試合 住の

の仕方、 の進め方」について講習会を 講義では剣道の理念は人間 安全面の配慮事項や足の 防具のつけ方に始ま 実技では礼

を実施した。 成27年度は剣道の講習会

竹刀の名称と安全確認について

正しい姿勢と素振りの仕方

支援、授業者の補助・助言である。 の充実を図っている。 る安全面の確保と生徒の技能向上 頼した。外部指導者への依頼内 部講師派遣事業」を実施してお 柔道2名、 「中学校体育武道必修化支援 より多くの授業でティ チングを行い、 剣道1名に指導を 剣道の指導者活 授業におけ 平成28年度 ム

突の示範は、 る有意義な講習会となった。

き、立ち居振る舞い

から受身、

固め技につい

ていただい

②武道実技外部指導者の積極的活

門的な見地から指導を また、 お二方の講師の美し した気勢による基本打 参加者にとって大き 今後の授業に生き ただい

本市では、県主催の 「武道等指

技の練習場面で

生徒の安全を確保するため 別指導を行った 礼法の意味や正 導者が分担 時間を設定した。 の精神について話 して巡回 7 ただく \hat{o} 武道

用し、指導力の向上を図っている。 24年度か を交えて生徒に示し では教師と外部指導者で「取」 で事前に話し合って掲示物を作 効果的な抑え込みのポイン 生徒に示

生徒の活動時には教師と外部指 ジを視覚的にとらえさせ の役を示範 動きの

さばき方、

気勢の大切さなど、

①具体的な取組

外部指導者から、 の豊富な専門的知識にもとづ 経験者として

と外部指導者 技の説明 月刊「武道 | 2017. 3 2017. 3 月刊「武道| 132 基本打突の指導②

を終えることができた。

全員けが等もなく安全に単元 師ばかりの学校であったが、

など覚えることが多いが、

2

人体制で指導にあたることが

活動の時間を確

1年生は、防具の着脱や所作

剣道の競技経験がない体育教

徹底した。

との衝突による事故の予防を

して学習を進めた。 の配慮から、 めた。投げ技については安全面 固め技は攻防を中心に学習を進 型の習得を目標と

・授業を通し、 安全面を優先しつつ、 精神について学ぶことができ を尊重しつつお互いに高め合う 礼を重んじ、

固め技では攻防の楽しさ、 や魅力について十分に経験させ 感覚など、柔道の技能的な特性 の中で、合理的に相手を投げる 技では「崩し」から「体さばき」、 ない」といった生徒の否定的な ポイントを抑えた段階的な学習 「技のかけ」に至る一連の動き ジを軽減することができ 「柔道は痛い、 投げ

技能面の ①具体的な取組 けて、 外部指導者は主に技能向上に向 指導者が手本を見せる際に、教 外部指導者が先手を打って説明 の仕方などの説明を行 たりした。 らいや役割分担等について打ち をつくるなど、事前に授業のね を生徒に与え、 師が技のポイントについて視点 してしまうことがあった。外部 て生徒自身に考えさせる前に、 たものの、 していただいたり、 合わせを行う必要があった。 考えさせる場面

事前に教師に対して技能指導を 授業を行う際の留意点や技のポ イントについて教えていただい 教師だけで

はポイントをふまえて生徒が活 動できているか巡回して観察 打つ場所や足の引きつけ 教師

外部指導者と打ち合わせを行っ 技のポイントについ



【応じ技 小手抜き面】



【巡回指導で技のポイントを教授】 正しい打ち方と受け方を個別に指導



○外部指導者の積極的活用 (剣道)

【基礎打突「面打ち」の示範】

竹刀を面とみたてて、竹刀の中心を打つ

相手の打突を防いで、直ちに打ち込む

おわりに 武道の伝統的な 他の単元にお 安全面へ 勝敗を 課題である。

5

活動時は整列や打ち込みの方

向を統一するなど、

他のペア

をした。

一して、

使用法と管理の徹底

や防具の着脱・片付け方を統 ただいた。また、身だしなみ 指導者にも安全を確認してい か、教師の目だけでなく外部

から話をしていただいたこと 心構えについても専門的な見地

に、外部指導者の確保と調整が る効果がたいへん大きいだけ 礼法について所作だけでなく、

きてしまった。

外部指導者によ

に付けることができた。

基本打突の指導①

竹刀を使用する前には、必ず

竹刀にささくれや破損がない

でき、

効率よく正しい動きを身

近で見てイメージをもつことが

②生徒の安全を確保するための

イントを具体的に示したりする

4課題

生徒は正しい所作を間

・外部指導者の仕事の都合上、

導を希望する日の調整が難し

く、学級によって外部指導者に

入っていただく時間数に差がで

方の模範を示したり、

動きのポ

増えた。

の際、あいさつができる生徒が

いても体育館や武道場の出入り

有段者である外部指導者が打ち

いただいた。

礼儀作法や剣道の防具や衣服

保することができた。

歴史や文化的な話をして

ことができるようにするために、 の習得など武道の魅力を経験する 生徒が安心して授業を受け、

実させていきたい

導を行っている。 考え方を理解し、相手を尊重する 競うだけでなく、 の配慮を最重要視しつつ、 心を育てることにも力を入れた指 武道指導においては、

て、できる支援を今後も、 を積極的に進める必要がある。 たりすることができる授業づくり 習得したり、武道の精神を理解し 的・対話的な学びを通して技能を 実させるとともに、 安全な環境・指導体制をさらに充 そのため、 市教育委員会とし 生徒が主体

月刊「武道」 2017. 3 2017. 3 月刊「武道」 134 135